

校長室だより

令和5年(2023年)
1月24日発行(No.26)
柏原市立 堅上小学校
校長 小森 美智代

新しい年・3学期の始まり

やる気いっぱいの子どもたち



3学期が始まって2週間がたちました。まだ2週間、あるいはもう2週間ですか。人それぞれ感じ方が違うかとは思いますが、子どもたちは、どんなことにも一生懸命取り組んでいます。始業式の日から子どもたちの意気込みが違いました。先生の話聞く姿、校内の大掃除に取りかかる姿からもやる気があふれていました。



ホールに集合して始業式を行いました。前に立つ先生の話をしっかり聞いています。休み中、生活リズムを崩すことなく過ごせたということですね。



2時間めは、みんなで校内を大掃除。人数は少なくても、掃除する教室の広さは同じです。一人ひとりの分担は広いものになります。特別教室も、高学年中心に分担しています。



広い図書室の本のほこりを一生懸命はたきで払ってくれています。堅上の冬の水は、すごく冷たいですが、雑巾かけも3人で協力して行います。もちろんその前にほうきでゴミをしっかりと集めています。



2023年の初めての挑戦。1月20日漢字能力検定

今年も漢字能力検定に、4～6年生の児童が挑戦しました。合格を目標にコツコツと漢字学習に取り組んできました。過去の問題を実際に解答し、自分の実力を知るところからのスタートでしたが、何度かやるうちに、自分の苦手な問題も見えてきます。筆順を適当に覚えていたり、送り仮名があやふやだったり。冬休みも、各教科の宿題以外にこの漢字能力検定に向けて練習してきたと教えてくれる子もいました。また、1回目の練習では、100点に届かなかったのに、前日の最終練習では、191点でしたと報告してくれました。クラスのみならず、頑張ろうと背中を押されるようです。こうやって何か目標に向かって努力をすることも、漢字とともに覚えてくれると、この検定を実施する意味が大きくなります。

今回初めて漢字能力検定を受けている4年生です。解答用紙と問題用紙を切り離すのも少しドキドキの様子でした。始まったら、緊張も少しずつなくなったのか、鉛筆がどんどん進んでいました。



2回目となると、落ち着いたものです。普段と変わらない雰囲気でした。合格に向けて練習を頑張った人がたくさんいたと聞いています。

小学校最後のチャレンジ。解答用紙の切り離しも、スムーズでした。試験時間は、60分ですが、見直しをしても時間が余っている人が多くいました。ミスを防ぐのに大事なことです。



お忙しいところ学校教育アンケートへのご協力、ありがとうございました。

本年度も、「学校教育アンケート」へのご協力ありがとうございました。少しずつ動き出した令和4年度でしたが、まだまだ制限が残りました。そんな中、たくさんご協力、ご支援をいただき本当にありがとうございました。現在、提出いただいたものを集計しています。3～6年生の児童も行っていますので、合わせて校長室だよりの紙面で、報告させていただきます。貴重なご意見を今後の堅上小学校の活動に活かしていきたいと思っています。